

JR東海労ニュース

No. 996

2007年10月29日

JR東海労働組合

「窃取はデッチ上げ」だ！ JR東海ユニオン役員は証拠を見たのか！

JR東海ユニオンは組織情報No.540で「社内調査を行ったところ、蒲郡駅の防犯カメラ及びコピー機の履歴から当該社員であるJR東海労の役員が当該文書を窃取したことが明らかになった」との会社見解を代弁し、JR東海労役員を犯罪者にしている。

しかし、「窃盗」は会社・権力の一体となった「デッチ上げ」である。JR東海ユニオン役員は、警察でも逮捕できず、検察も起訴できないの事をどう説明するのか。JR東海労が、会社に、「証拠があるというなら証拠を示せ」「どのような映像と、どのような履歴か」と迫っても、会社は「答える必要がない」とふざけた回答しかできない。JR東海ユニオン役員は会社のいう証拠を見たのか。証拠も見ないでよくいえたものだ。会社の言うことだけしか聞かないJR東海ユニオン役員の犯罪的行為を我々は絶対許さない！

JR東海ユニオン役員よ、会社が証拠を示さないことを知っているのか！

JR東海ユニオン組合員のみなさん！役員の上でだまされてはいけません！組合員が不当解雇されてだまされている労働組合は労働組合ではない！組合員の利益を守るため闘うJR東海労と共に闘いましょう！